

報道関係者各位

2013年5月22日

センシングカメラセキュリティシステムの提供を開始しました - 侵入者を映像解析で検知します -

東急セキュリティ株式会社

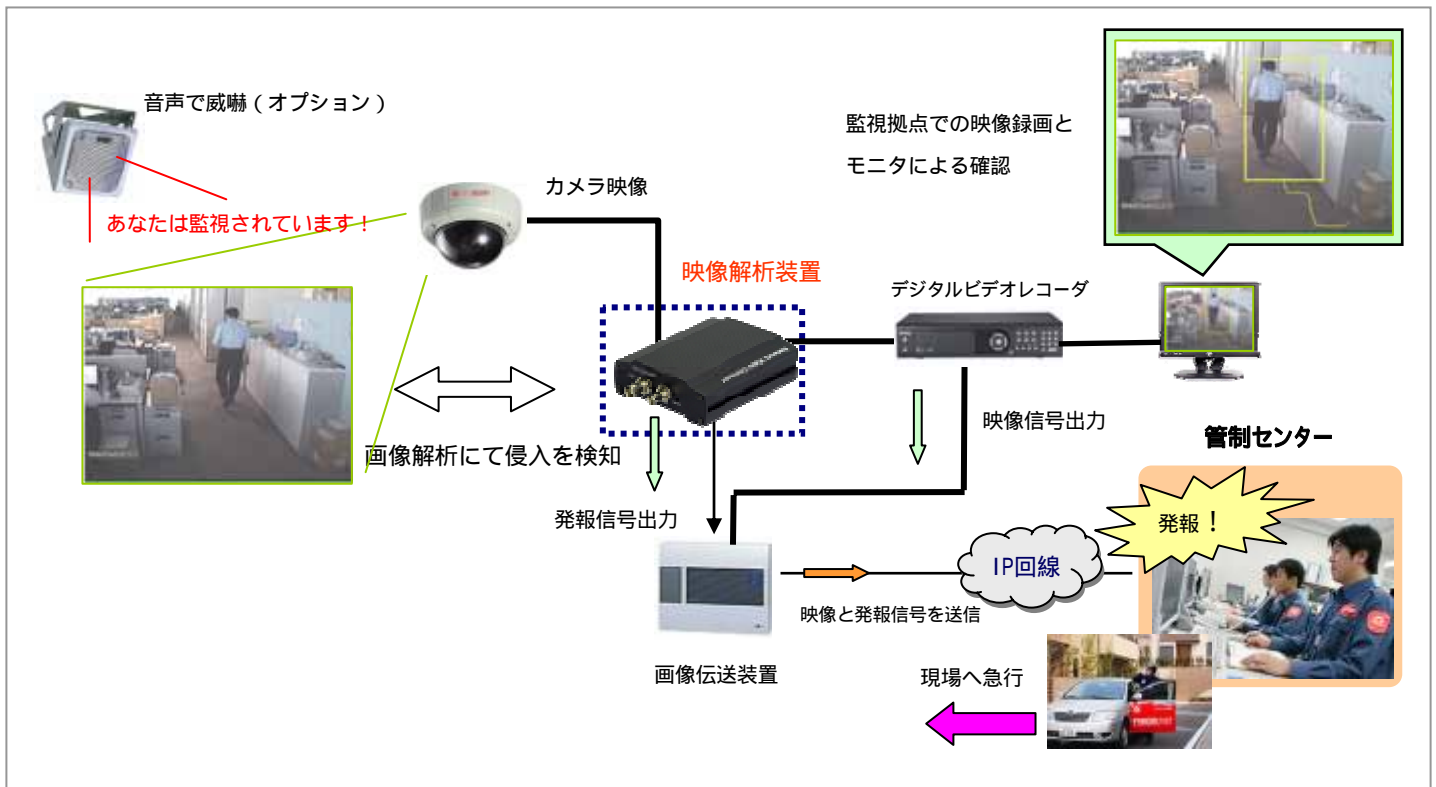
東急セキュリティ株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役：波戸 覺）は、侵入者を映像で解析して立ち入り禁止エリアへの侵入を検知し、機械警備システムと連動して当社の管制センターに通報するセンシングカメラセキュリティシステムの販売を5月1日より開始しました。

本製品(映像解析装置と映像転送装置)を屋内の新規設置もしくは既存設置のアナログカメラに接続し、特定の人物の特徴を予め映像解析装置に定義します。この定義に合致する人物が指定された映像範囲内に入った時に侵入者として検知します。本製品を導入することにより従来の機械警備機器に比べ精度の高い検知率が期待できます。

また、スピーカー（オプション）を接続すれば侵入者を検知した際に、管制センターにて転送された監視拠点の映像を確認するとともに、不審者に対し管制センター員の声で威嚇することができます。

当社は、本システムの機能と当社のセキュリティ管理ノウハウを組み合わせ、本製品導入工事及びその運用管理設計を含めたソリューション提案を行って参ります。

製品概要



【特 長】

認識率の向上

映像から判断を行うため、赤外線センサ、パッシブセンサに比べて検知精度が向上

監視エリアの自由度

カメラの映像範囲内に監視エリアを自由に設定可能（最大40エリア）

簡単な設置調整

画面を見ながら検知したいエリアをマウスで設定可能

営業展開

東急グループ各社への営業展開をはじめ、他の会社様にもソリューション提案を行う計画です。

東急セキュリティは、今後も映像を利活用した商品のソリューション提案を通して、セキュリティレベルや利便性が高くお客様に安心いただける鉄道系警備会社ならではのサービスを提供して参ります。

以 上